

【JACICセミナー】

「施工パッケージ型積算方式」の概要と JACICの導入支援の取組み

平成25年9月6日

システム事業部門 積算システムセンター
積算システムセンター長 宮本 高行

— 説明内容 —

項目

1. 「施工パッケージ型積算方式」の概要
2. 地方公共団体への導入支援
3. 地方公共団体向けweb版積算システム

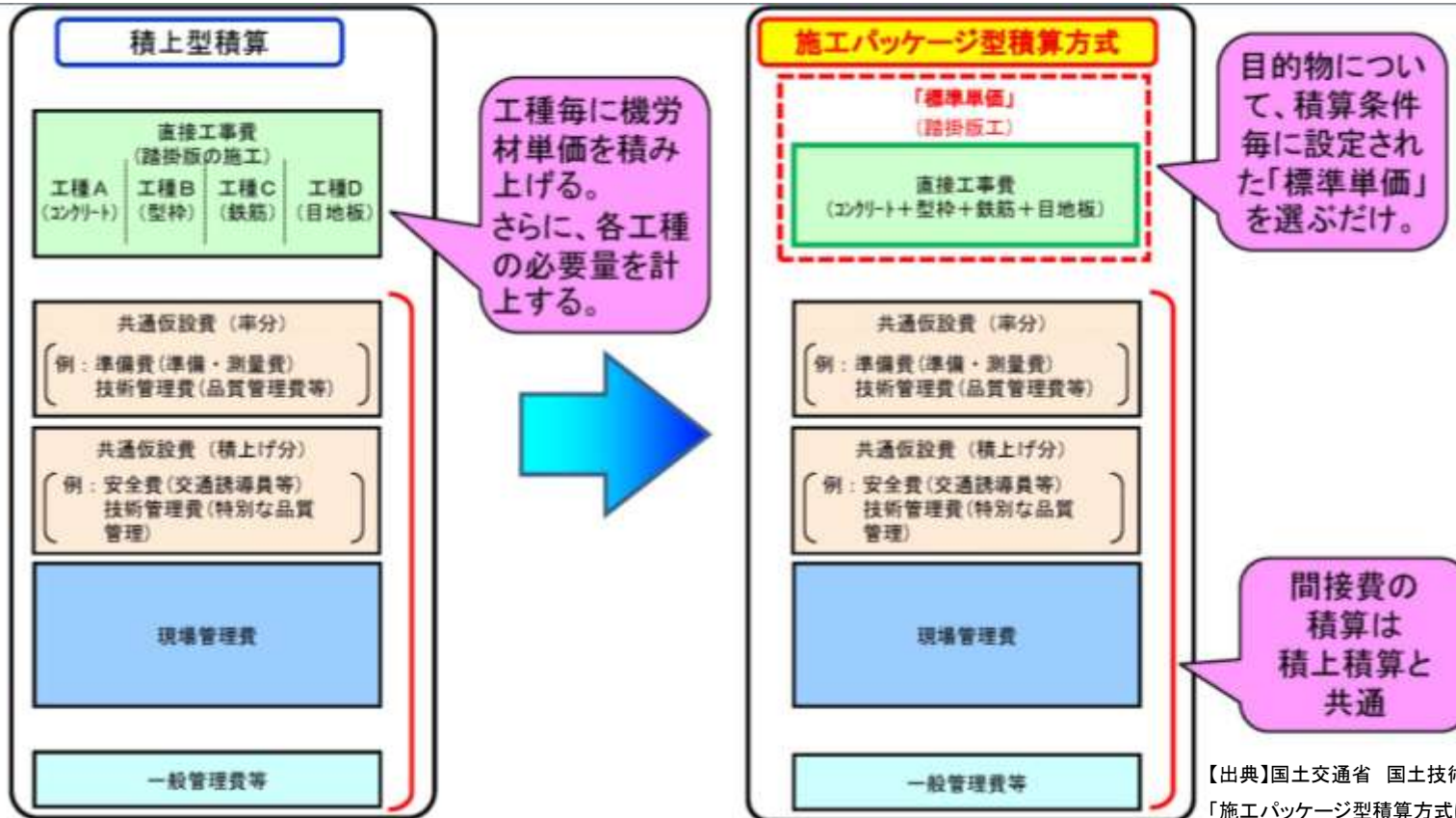


1. 「施工パッケージ型積算方式」の概要

1-1. 施工パッケージ型積算方式の概要

「施工パッケージ型積算方式」とは、工事目的物の機械経費、労務費、材料費を含んだ施工単位当たりの標準単価を用いた、簡素な積算方式。

間接費は、従来の積上積算方式と同じ率式により算出。



【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP
「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

1-2. 施工パッケージ型積算方式の適用時期と範囲

【適用開始】

【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP
「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

- ◆平成24年10月1日以降に入札を行う工事より試行を開始。

【適用範囲】

- ◆平成24年10月1日からは、3工事区分(舗装、道路改良、築堤・護岸)の主要工種に63施工パッケージを適用。
- ◆平成25年10月1日からは、3工事区分(舗装、道路改良、築堤・護岸)および6工事区分(道路維持・修繕、河川維持・修繕、砂防堰堤、電線共同溝)の主要工種に146施工パッケージを新たに追加適用。
- ◆「施工パッケージ」を導入した工種は、積算基準書から歩掛が削除され、工事区分にかかわらず全ての土木工事において「施工パッケージ」による積算を行う。

【適用範囲の拡大】

- ◆平成26年度以降の適用を目指し、平成25年度は6工事区分(道路維持、道路修繕、河川維持、河川修繕、砂防堰堤、電線共同溝)の残りの歩掛を施工パッケージ化する。

1-3. (1) 施工パッケージ一覧(平成24年10月から適用)

N O	パッケージ名称	N O	パッケージ名称	N O	パッケージ名称	N O	パッケージ名称
1	掘削	17	法面整形	33	ふとんかご	49	基層(歩道部)
2	土砂等運搬	18	市松芝	34	函渠	50	中間層(歩道部)
3	整地	19	人工張芝	35	巨石採取	51	表層(歩道部)
4	路体(築堤)盛土	20	吹付法面取壊し	36	消波根固めブロック運搬	52	アスカーブ
5	路床盛土	21	間知ブロック張	37	消波根固めブロック仮置	53	排水性舗装・表層(車道・路肩部)
6	押土(ルーズ)	22	天端コンクリート	38	根固めブロック撤去	54	基礎ブロック(立入防止柵)
7	積込(ルーズ)	23	小型擁壁(人力打設)	39	かごマット設置	55	金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)
8	土材料	24	重力式擁壁	40	袋詰玉石	56	特殊ブロック舗装
9	残土等処分	25	プレキャスト擁壁設置	41	不陸整正	57	舗装版破砕
10	河床等掘削	26	サンドマット	42	下層路盤(車道・路肩部)	58	舗装版切断
11	掘削(砂防)	27	安定シート・ネット	43	下層路盤(歩道部)	59	歩車道境界ブロック撤去
12	土砂等運搬(砂防)	28	粉体噴射攪拌	44	上層路盤(車道・路肩部)	60	地先境界ブロック撤去
13	押土(ルーズ)(砂防)	29	石積取壊し(人力)	45	上層路盤(歩道部)	61	踏掛版
14	積込(ルーズ)(砂防)	30	コンクリートはつり	46	基層(車道・路肩部)	62	殻運搬
15	掘削(光ケーブル配管)	31	吸出し防止材設置	47	中間層(車道・路肩部)	63	現場発生品・支給品運搬
16	安定処理	32	じゃかご	48	表層(車道・路肩部)		

1-3. (2) 施工パッケージ一覧(平成25年10月から適用)

分類	No	パッケージ名称
土工	1	床掘り
	2	掘削補助機械搬入搬出
	3	基面整正
	4	転石破碎
	5	埋戻し
	6	タンバ締固め
	7	舗装版破碎積込み(小規模土工)
	8	人力積込
	9	人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石
	10	人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等
	11	人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類
	12	人肩運搬(運搬～取卸し)
	13	小車運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石
	14	小車運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等
	15	小車運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類
	16	小車運搬(運搬～取卸し)
	17	ベルトコンベア併用人力掘削(床掘り)
	18	ベルトコンベア併用人力積込
共通工	19	基礎碎石
	20	裏込碎石
	21	基礎栗石
	22	裏込栗石
	23	採取小割
	24	コンクリートブロック積
	25	平ブロック張

分類	No	パッケージ名称
共通工	26	連節ブロック張
	27	緑化ブロック積
	28	緑化ブロック(材料費)
	29	天端ブロック(材料費)
	30	胴込・裏込コンクリート
	31	胴込・裏込材(碎石)
	32	遮水シート
	33	吸出し防止材(全面)設置
	34	植樹
	35	現場打基礎コンクリート
	36	小型擁壁(B)
	37	もたれ式擁壁
	38	逆T型擁壁
	39	L型擁壁
	40	化粧型枠
	41	化粧型枠(材料費)
	42	ペーラインコンクリート(材料費)
	43	ヒューム管(B形管)
	44	ボックスカルバート
	45	暗渠排水管
	46	フィルター材
	47	管(函)渠型側溝
	48	プレキャスト集水樹
	49	プレキャスト集水樹(材料費)
	50	鉄筋コンクリート台付管

分類	No	パッケージ名称
共通工	51	プレキャストL形側溝
	52	プレキャストマンホール
	53	PC管
	54	コルゲートパイプ
	55	コルゲートフリウム
	56	現場打ち水路(本体)
	57	現場打ち集水樹・街渠樹(本体)
	58	粉体噴射攪拌(移設)
	59	粉体噴射攪拌(軸間変更)
	60	削孔(アンカー)
	61	アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー)
	62	グラウト注入(アンカー)
	63	ボーリングマシン移設(アンカー)
	64	足場(アンカー)
	65	アンカー(材料費)
	66	積込(コンクリート殻)
	67	目地板
	68	止水板
69	止杭打込	
70	現場取卸(鋼桁)	
71	現場取卸(PC桁)	
72	現場取卸(鋼管杭)	
コンクリート工	73	コンクリート
	74	モルタル練
	75	型枠

【出典】JACIC情報 108号 P19

「施工パッケージ型積算方式の概要と特徴 表-1」

1-3. (2) 施工パッケージ一覧(平成25年10月から適用)

分類	No	パッケージ名称
コンクリート工	76	撤去しない埋設型枠(材料費)
河川海岸	77	消波根固めブロック製作
	78	消波根固めブロック据付
河川維持工	79	散在塵芥処理
	80	運搬(散在塵芥処理)
	81	堆積塵芥処理(機械処理)
	82	堆積塵芥処理(人力処理)
	83	運搬(堆積塵芥処理)
	84	軟弱土等運搬
	85	巨石張(練)
	86	巨石張(空)
	87	巨石積(練)
	88	巨石(材料)
	89	プレキャスト基礎
	90	プレキャスト基礎(材料費)
	91	中詰コンクリート
	92	野芝種子吹付
	93	被覆シート張
	94	養生(散水養生)
	95	笠コンクリートブロック据付
	96	笠コンクリートブロック据付(材料費)
	97	埋戻し・締固め
	98	敷砂、保護砂(材料費)
99	配管設置(埋設部)	
100	配管設置(露出部)	


分類	No	パッケージ名称
河川維持工	101	ハンドホール
	102	配管支持金具(材料費)
	103	ブルボックス(材料費)
	104	可とう電線管(材料費)
	105	伸縮継手(材料費)
	106	ノーマルベンド(材料費)
	107	多孔保護管(材料費)
舗装工	108	フィルター層敷設
	109	透水性アスファルト舗装
付属施設	110	支柱
	111	支柱(材料費)
	112	車止めポスト
	113	歩車道境界ブロック
	114	地先境界ブロック
	115	排水柵
	116	橋名板取付
	117	橋梁用高欄
	118	橋梁用高欄一体式(材料費)
	119	飾り高欄
	120	飾り高欄(材料費)
道路維持修繕工	121	距離標
	122	路面切削
	123	殻運搬(路面切削)
	124	素地調整
	125	付属構造物塗替

分類	No	パッケージ名称
道路維持修繕工	126	路面清掃(路肩部・人力)
	127	路面清掃(歩道等・人力)
	128	側溝清掃(人力清掃工)
	129	ガードレール復旧
	130	ガードパイプ復旧
共同溝工	131	舗装版破砕積込
	132	床掘り
	133	埋戻し・締固め
	134	運搬(電線共同溝)
	135	軽量鋼矢板設置撤去
	136	覆工板設置撤去
	137	管路材設置
	138	受金具(材料費)
	139	支持金具(材料費)
	140	管路受台(スベーサ)(材料費)
橋梁工	141	プレキャストブロック設置
	142	蓋設置
	143	蓋(材料費)
	144	前処理
	145	工場塗装
	146	排水管

【出典】JACIC情報 108号 P19

「施工パッケージ型積算方式の概要と特徴 表-1」

1-4. 施工パッケージの適用時期および使用割合

年度	平成23年度	平成24年度		平成25年度	
月	～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
積算方式		積上積算方式		146施工パッケージ	
		63施工パッケージ			
	ユニットプライス型積算方式 廃止 	施工パッケージ型積算方式 30%			
	市場単価方式 20%				
					50%

【出典】JACIC情報 108号 P18

「施工パッケージ型積算方式の概要と特徴 図-1」

1-5. 用語の定義・解説

名称	定義・解説
標準単価	<ul style="list-style-type: none"> ・東京17区における基準年月の標準的な単価 ・平成25年度の基準年月は平成24年9月 ・国総研HPに公表(基準書には非掲載)
積算単価	<ul style="list-style-type: none"> ・工事地区、発注時期に応じて標準単価を補正して算出する単価 ・補正により算出可能であるため非公表
補正式	<ul style="list-style-type: none"> ・積算単価算出の際に使用する補正式で、計算例も国総研HPに公表(標準単価、機労材構成比、機労材単価を用いて算出)
代表機労材規格	<ul style="list-style-type: none"> ・標準単価を設定した際に想定した代表的な機械・労務・材料規格 ・国総研HPに公表(基準書にもパッケージ毎に記載) ・機械3機種、労務4職種、材料4規格、市場単価1規格を公表
機労材構成比	<ul style="list-style-type: none"> ・標準単価毎に設定された代表機労材規格毎の金額構成比率 ・国総研HPに公表(基準書には非掲載)
工事費内訳書	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回入札に際し、第1回入札書に記載される入札金額に対応した工事費の内訳書であり、入札参加者から提出される
応札者単価	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費内訳書に記載された単価
請負代金内訳書	<ul style="list-style-type: none"> ・数量総括表に掲げる工種、種別及び細別に対応する金額を表示したもので、契約締結後14日以内に受注者から提出される

【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP
「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

1-6. 施工パッケージ型積算方式の基本方針(特徴)

(1) 実態を踏まえた適切な価格設定(1-7, 1-8参照)

⇒ 合意単価と**応札者単価**の利用、

実態調査を踏まえた上で標準単価を設定

(2) 透明性の確保(1-9, 1-10参照)

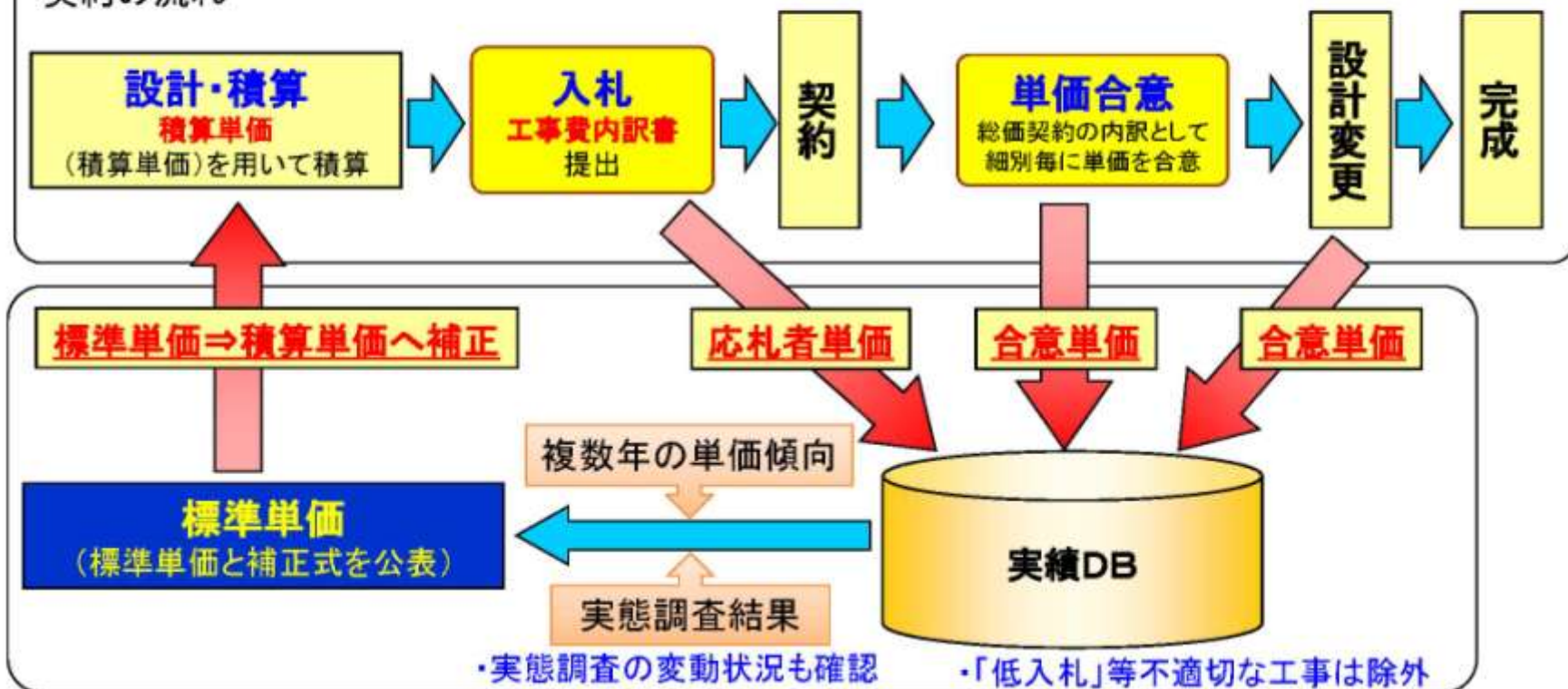
⇒ **標準単価の公表**、

積算単価算出のための**補正方法**を公表

1-7. 標準単価設定と合意単価等収集の循環

受発注者で合意した単価(合意単価)及び応札者単価を収集し、これらの収集単価を分析した結果に複数年の単価傾向や実際の施工状況等の変動(実態調査)も踏まえた上で、新たな「標準単価」を設定。

契約の流れ



【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP

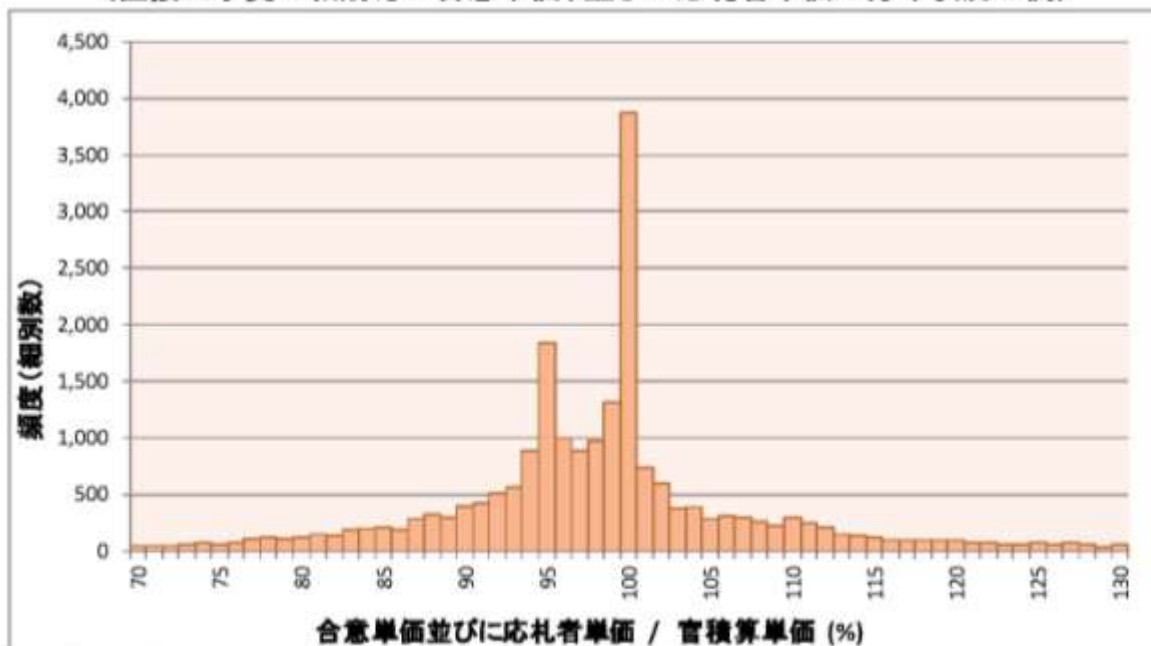
「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

1-8. より標準的な価格設定

積算上の予定価格は、**施工に必要な標準的な費用を設定**するものであるため、「標準単価」の設定においては、受注者との合意単価と**応札者単価も活用**して分析する。

H22年度の合意単価、応札者単価と官積算単価との関係

(直接工事費の細別毎の合意単価、並びに応札者単価の分布状況の例)



合意単価並びに応札者単価は官積算単価に対して100%付近を中心に正規分布的な広がりをもつ。



応札者単価は合意単価と同様に施工に必要な金額を適切に見積もりしていると言える。

平成22年度発注工事のうち、舗装、道路改良、築堤・護岸の約60工事を無作為に抽出し、その細別の分布状況を作成したもの

※低入データ等は採用しない。

【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP
「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

1-9. 標準単価の透明性の確保

価格の透明性を確保するため、標準単価を公表。

また、積算にあたっては標準単価を実際に工事を行う地域や時期にあった単価（積算単価）に補正するため、標準単価から積算単価への補正方法も公表。

《補正式（イメージ）》

H25.10 大阪 積算単価

$$\text{H24.9東京標準単価} \times \left(K \times \frac{\text{H25.10大阪機械単価}}{\text{H24.9東京機械単価}} + R \times \frac{\text{H25.10大阪労務単価}}{\text{H24.9東京労務単価}} + Z \times \frac{\text{H25.10大阪材料単価}}{\text{H24.9東京材料単価}} \right)$$

分子の材料単価は、毎月変動

分母の機労材単価は、年度内固定

K: 標準単価に占める機械費の構成割合
R: 標準単価に占める労務費の構成割合
Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

公表(年1回)

- ◆補正式
- ◆H24.9東京地区の標準単価
- ◆標準単価における機労材構成比

非公表

- ◆積算単価
⇒補正式を用いて算出可能
- ◆機械・労務・材料単価
⇒物価資料等により公表されている

【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP
「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

1-10. 標準単価から積算単価への補正式

施工パッケージ型積算方式で用いる、標準単価(P)から積算単価(P')への補正式は以下の通り。

$$\begin{aligned}
 \ll \text{補正式} \gg \quad P' = P \times & \left\{ \left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t}{K1t} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t}{K3t} \right) \times \frac{Kr}{K1r + \dots + K3r} \right. \\
 & + \left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t}{R1t} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t}{R4t} \right) \times \frac{Rr}{R1r + \dots + R4r} \\
 & + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t}{Z1t} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t}{Z4t} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + \dots + Z4r} + \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} \\
 & \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \right\}
 \end{aligned}$$

機械: 3機種
 労務: 4職種
 材料: 4規格
 市場単価: 1規格

P': 積算単価(積算地区、積算年月)

P: 標準単価(東京17区、基準年月)

Kr: 標準単価における全機械(K1~K3,他)の構成比合計

K1r~K3r: 標準単価における代表機械規格K1~3の構成比

K1t~K3t: 代表機械規格K1~3の単価(東京17区、基準年月)

K1t'~K3t': 代表機械規格K1~3の単価(積算地区、積算年月)

Rr: 標準単価における全労務(R1~R4,他)の構成比合計

R1r~R4r: 標準単価における代表労務規格R1~4の構成比

R1t~R4t: 代表労務規格R1~4の単価(東京17区、基準年月)

R1t'~R4t': 代表労務規格R1~4の単価(積算地区、積算年月)

Zr: 標準単価における全材料(Z1~Z4,他)の構成比合計

Z1r~Z4r: 標準単価における代表材料規格Z1~4の構成比

Z1t~Z4t: 代表材料規格Z1~4の単価(東京17区、基準年月)

Z1t'~Z4t': 代表材料規格Z1~4の単価(積算地区、積算年月)

Sr: 標準単価における市場単価Sの構成比

St: 市場単価Sの所与条件における単価(東京17区、基準年月)

St': 市場単価Sの所与条件における単価(積算地区、積算年月)

【出典】国土交通省 国土技術政策総合研究所 HP

「施工パッケージ型積算方式について(平成25年度版説明資料)」

1-11. 期待される効果

(1) 受注者への効果

◆元下間の契約の透明性の向上

- ・「標準単価」として直接工事費が公表されるとともに、施工パッケージ単位で総価契約単価合意を実施し、合意単価が示されることとなるため、**元下間の契約の透明性にも効果**が見込まれる。

◆価格の透明性の向上

- ・標準単価及び積算単価への補正方法を公表することにより、発注者の価格設定が明確化され、**受注後の単価協議や設計変更時等における受発注者の協議の円滑化**が見込まれる。

(2) 発注者への効果

◆積算業務の負担軽減

- ・発注者の**積算作業の簡素化**が図られる。

◆標準歩掛調査の負担軽減

- ・地方整備局等の職員が、毎年実施している標準歩掛調査や、標準歩掛の検討・取りまとめについて、施工パッケージ化により**単価の収集・分析を行うことで、価格の設定が簡素化**され、標準歩掛調査の負担の軽減が図られる。

A photograph of a bright blue sky with wispy white clouds, viewed from a low angle looking up. The sky transitions from a deep blue at the bottom to a lighter blue at the top. The bottom edge of the image is a dark, almost black horizon line.

2. 地方公共団体への導入支援

2-1. 導入支援までの経緯

◆平成24年2月15日 国土交通省が施工パッケージ型積算方式の試行導入を発表



◆地方公共団体から施工パッケージ型積算方式積算方式に関する問合せが多数寄せられた。



◆地方公共団体が今後、施工パッケージ型積算方式を円滑に導入するために、JACICとして支援する必要がある。



【支援策】

- ◆施工パッケージ型積算方式の説明会開催
- ◆「施工パッケージ型積算方式とは」のホームページ開設

2-2. 「施工パッケージ型積算方式とは」のホームページ開設

「JACICオリジナルメニュー」
※今後、解説メニューを逐次更新してまいります。

「機労材構成比」の解説の一例です。

クリック

クリック

クリック

施工パッケージ型積算方式とは

機労材構成比とは
機労材構成比とは、積算単価はどのように算出されるか。

「機労材」の施工単価(200円/m²)における機労材構成比は、「機械」が46.00%、「労務」が31.50%、「材料」が22.50%である。

これを、国土技術政策総合研究所が公表している「平成14年度施工パッケージ型積算方式標準単価表」に当てはめると、K010=46.00%、R010=31.50%、Z010=22.50%となる。

例え、「機械」、「労務」、「材料」が各1つの最も単純なパターンであるため、主要資材の構成比は、凡そ代表資材規格の構成比(凡、Z)が同じであるが、代表資材規格が複数(※)ある場合は各々の代表資材構成比を算出する。(※機械は最大4規格、労務は最大4規格を使用する)

内容名称	金額内訳	比率	備考
①内訳 10-1型・機労材型(※Z01) 1000(平積1.00)	92	①/内 46.00%	機械
②特殊運転車	63	②/内 31.50%	労務
③軽油	45	③/内 22.50%	材料
合計	200		

●機械
●労務
●材料

情報システム・情報
各種情報システムの概要
JACICの提供する情報・サービスの概要

- 1 コリンス・テクリス
公共工事・業務実績情報
- 2 工事実績情報公開(一般公開)
土記による、発注者への承認と解凍機能
- 3 積算システム(地方公共団体向け)
地方公共団体への施工パッケージ型積算方式導入に向けた技術支援
- 4 建設副産物・廃棄物
建設副産物(コンクリート等)の発生と発生した際の処理
- 5 電子入札コアシステム
各発注機関の多様な要求に対応した電子入札システム
- 6 入札情報サービス(統合PFI)
入札公告、開票等の情報サイト

施工パッケージ型積算のイロハ

- ・機労材構成比とは
- ・機労材構成比による各種補正方法の解説(6月下旬補正予定)
- ・施工パッケージ型積算標準の見方【土工編】(7月初旬補正予定)
- ・設計室へ送る解説(7月下旬補正予定)

関連情報

- ・「施工パッケージ型積算方式」記者発表資料【平成24年4月】
- ・「施工パッケージ型積算標準(PDF)」(国土交通省記者発表資料【平成24年5月更新】)
- ・「平成24年度施工パッケージ型積算方式標準単価表(PDF)」(国土技術政策総合研究所【平成24年4月27日】平成24年5月更新)
- ・「建設副産物発生量調査結果発表の概要(PDF)」(国土交通省記者発表資料【平成24年11月1日】)

お問い合わせ先 (下記をクリックするとメールによるお問い合わせができます)

一般財団法人 日本建設情報総合センター
システム事業部門 積算システムセンター
TEL 03-3564-9510

2-3. 「施工パッケージ型積算方式の説明会」の開催

【説明内容】

- ◆ 施工パッケージ型積算方式の概要
- ◆ 施工パッケージ単価算出方法
- ◆ 積算基準書の改訂点や基準書の解釈 等



説明会実施状況(関東ブロック)

開催ブロック	開催日	開催場所	参加人数
北海道	7月18日	札幌市	13名
東北	7月27日	盛岡市	8名
関東	7月11日	大宮市	38名
北陸	7月31日	直江津市	11名
中部	8月8日	名古屋市	32名
近畿	9月12日	大阪市	38名
中国	8月9日	広島市	11名
四国	9月5日	高松市	12名
九州-①	8月29日	鹿児島市	4名
九州-②	8月30日	福岡市	17名
			184名

2-4. 地方公共団体向けアンケート結果

(1) 質問項目

質問項目

I 土木工事標準積算基準書等の使用状況について

Q1:国土交通省の土木工事標準積算基準書を使用していますか

Q2:独自歩掛を設けていますか

Q3:国土交通省の工事工種体系を取り入れていますか

Q4:市町村へ貴自治体の積算基準書等を送付していますか

II 入札契約について

Q5:予定価格の事前公表を行っていますか

Q6:総価契約単価合意方式を導入していますか

III 積算システム等の現状について

Q7:積算システムは独自開発ですが、あるいはパッケージですか

Q8:積算基準データは独自作成ですか、あるいは市販のものを使用していますか

IV 施工Pについて

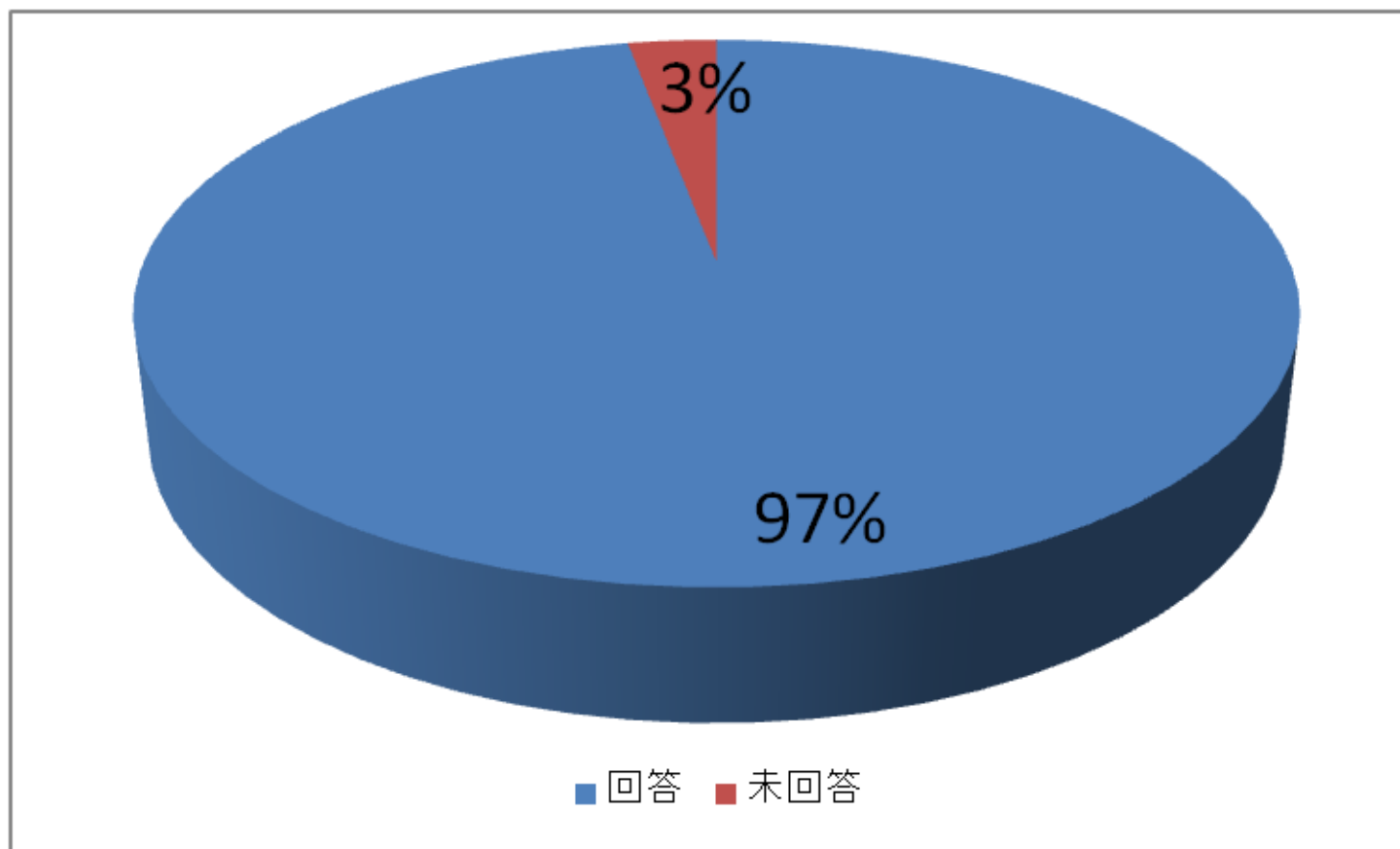
Q9:施工Pの導入はいつ頃から予定されていますか

Q10:施工P導入に際して、特に、不安と思われるものは何ですか

V 国土交通省あるいはベンダーへの要望

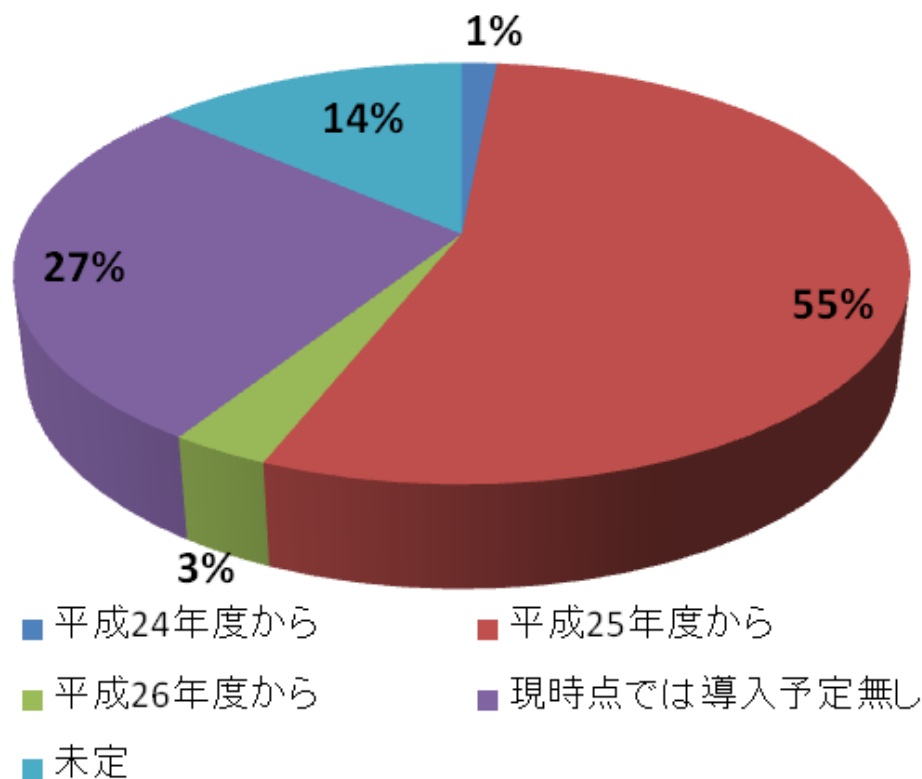
2-4. 地方公共団体向けアンケート結果 (2) アンケート有効回答率

アンケートの有効回答数は都道府県・政令指定都市68団体のうち66団体(97%)と非常に高い回答率であった。



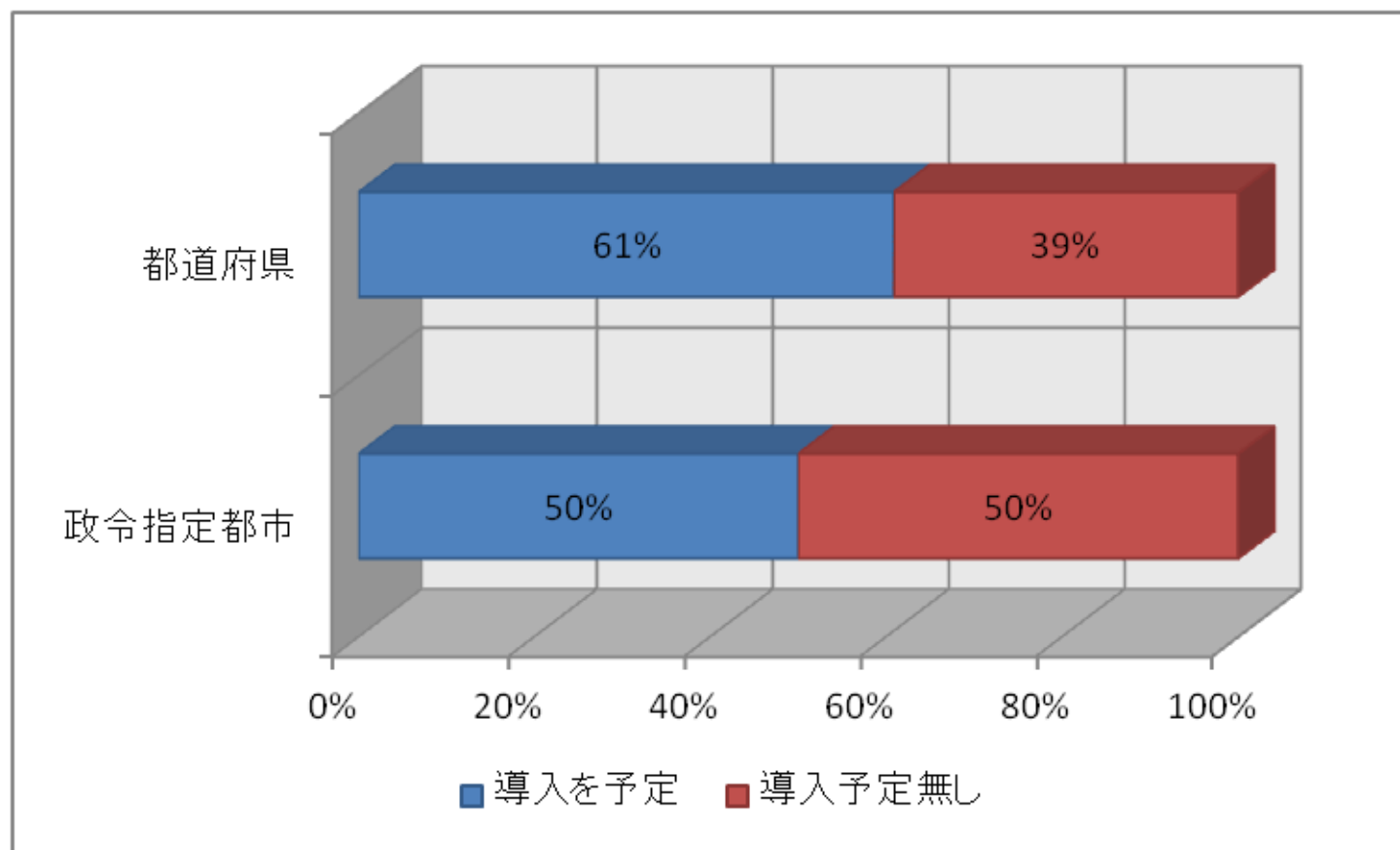
2-4. 地方公共団体向けアンケート結果 (3) 施工パッケージ型積算方式導入時期

有効回答全体の約6割(59%)が施工パッケージ型積算方式の導入を予定しており、時期的には平成25年度からの導入が最も多く、全体の55%であった。



2-4. 地方公共団体向けアンケート結果 (4) 都道府県・政令指定都市別の導入時期

有効回答の中で導入を予定している地方公共団体の内訳は、**都道府県が61%、政令指定都市が50%**であった。

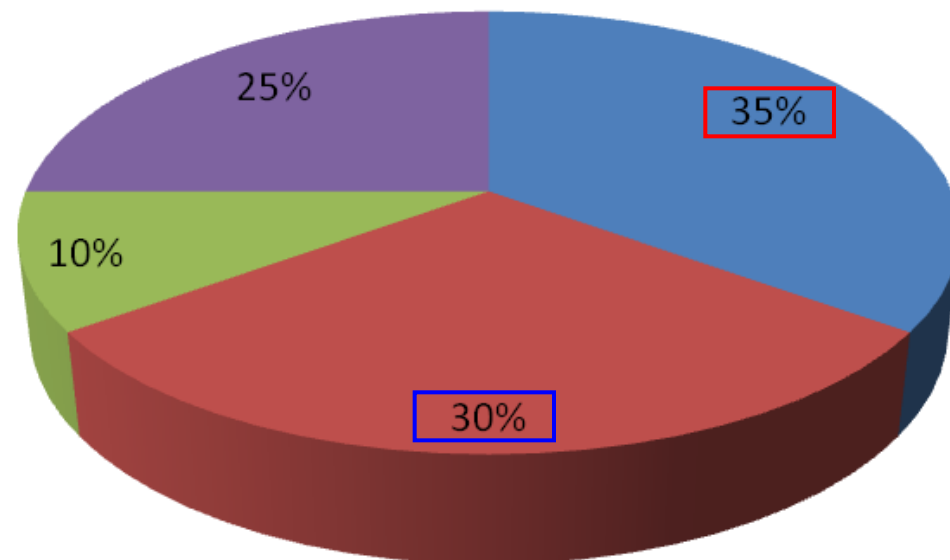


2-4. 地方公共団体向けアンケート結果

(5) 主な導入理由

導入を予定している地方公共団体の内、その理由の多くが従来の積上げ方式の「歩掛が廃止される」ことを挙げている(全体の35%)。

また、「積算システムの改良時間を考慮」して導入時期を決めている地方公共団体も多い。



■ 歩掛廃止

■ 積算システム改良時間を考慮

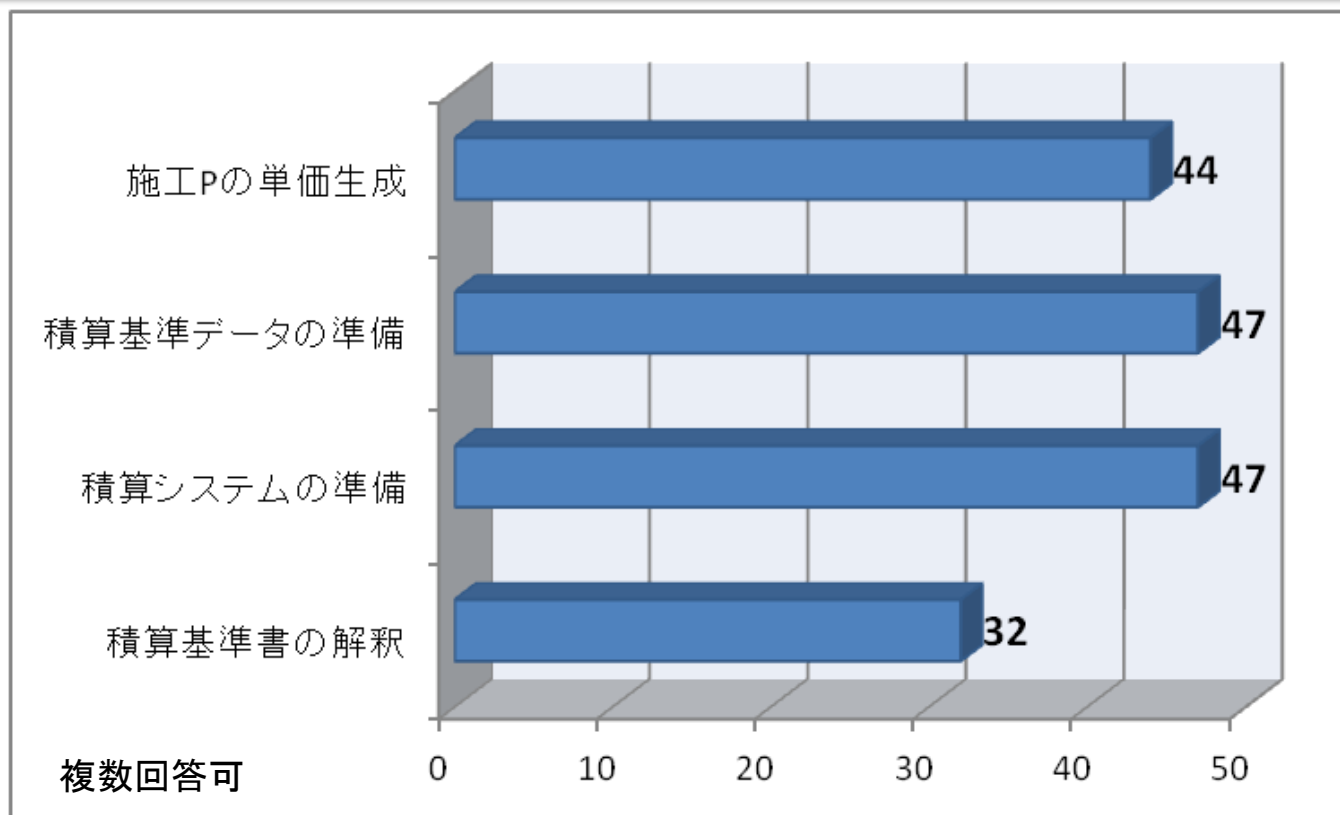
■ 年度改定時期を考慮

■ その他

複数回答可

2-4. 地方公共団体向けアンケート結果 (6) 導入に際して不安とを感じる事項

施工パッケージ型積算方式を導入する際に不安とを感じるであろう4項目(「施工Pの単価生成」、「積算基準データの準備」、「積算システムの準備」、「積算基準書の解釈」)についてのアンケート結果

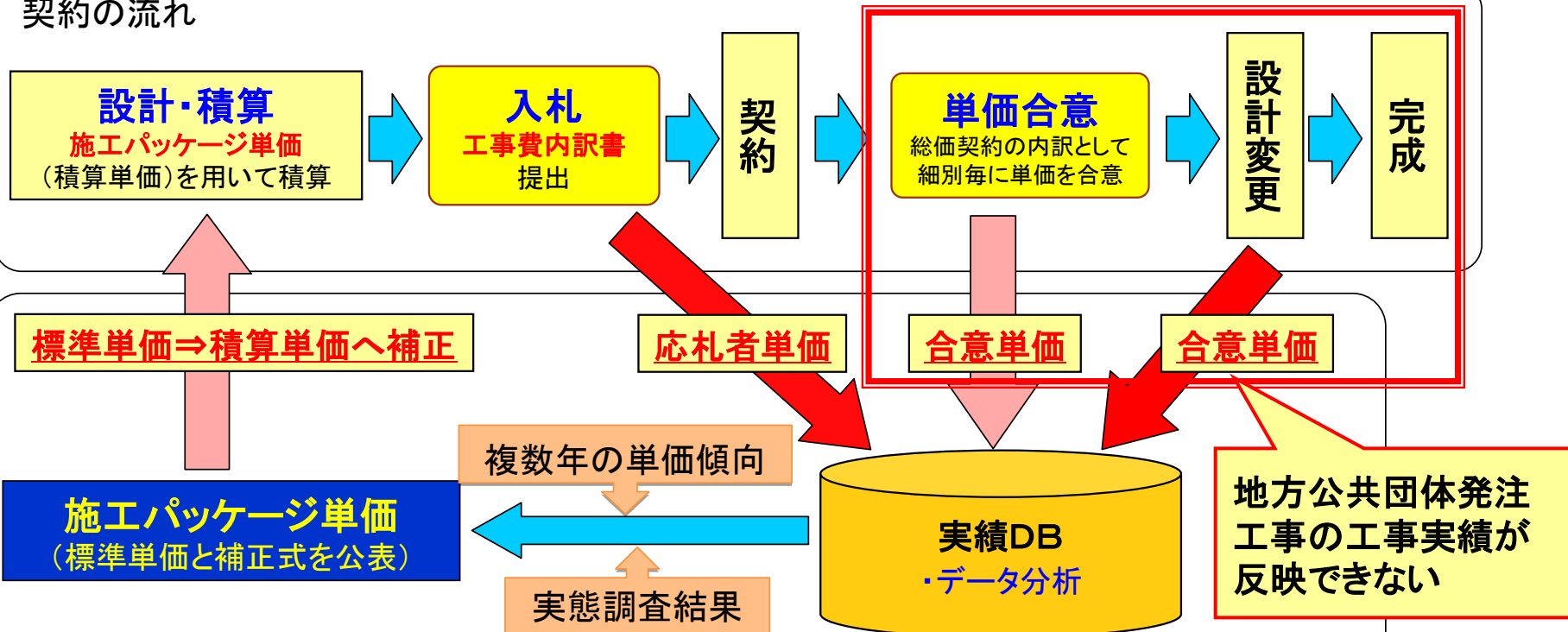


2-4. 地方公共団体向けアンケート結果 (7) 施工パッケージ単価生成における懸念

施工パッケージ単価の地方公共団体への適用の妥当性

地方公共団体は総価契約単価合意方式を導入していないため、歩掛と異なり施行P単価設定時に地方公共団体発注工事の工事実績が反映できないことを懸念

契約の流れ



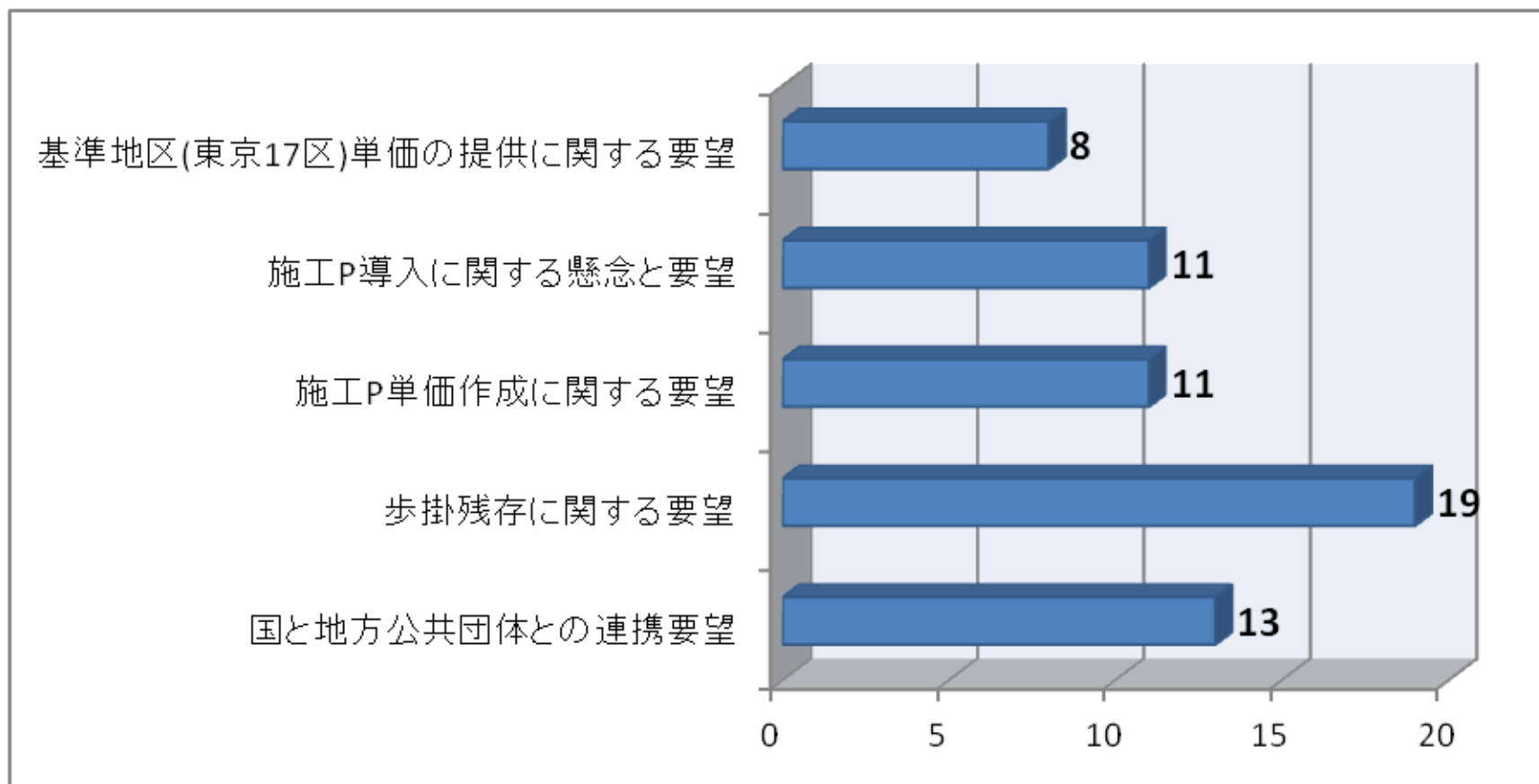
・実態調査の変動状況も確認

【出典】国土交通省報道発表資料
(平成24年2月15日)

2-4. 地方公共団体向けアンケート結果

(8) 国交省への要望(1)

「施工パッケージ型積算方式の導入に当たっての国土交通省への要望」について、特に要望が大きかった項目



2-4. 地方公共団体向けアンケート結果 (8) 国交省への要望(2)

基準地区(東京17区)の材料単価の公表

《補正式》

【出典】「国土交通省報道発表資料
(平成24年2月15日)」

H24.10 鹿児島 積算単価

$$= \text{H23.9東京標準単価} \times \left(\boxed{K} \times \frac{\text{H24.10鹿児島機械単価}}{\boxed{\text{H23.9東京機械単価}}} + \boxed{R} \times \frac{\text{H24.10鹿児島労務単価}}{\boxed{\text{H23.9東京労務単価}}} + \boxed{Z} \times \frac{\text{H24.10鹿児島材料単価}}{\boxed{\text{H23.9東京材料単価}}} \right)$$

を公表

K: 標準単価に占める機械費の構成割合
R: 標準単価に占める労務費の構成割合
Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

地方公共団体が施工パッケージ型積算方式を導入すると従来の積上げ積算よりも単価調査等の業務量が増大

積算業務の効率化とはならない

基準地区(東京17区)の材料単価の公表

2-4. 地方公共団体向けアンケート結果

(9) 説明会・アンケート結果の国土交通省へ報告

説明会・アンケート結果を国土交通省技術調査課に
2度(平成24年8月23日、同10月5日)に渡って報告

【主な議題】

歩掛の残存

基準地区(東京17区)の材料単価の公表

施工パッケージ単価の地方公共団体への適用の妥当性



3. 地方公共団体向けweb版積算システム

3. 地方公共団体向けのWeb版土木積算システム

◆施工パッケージ型積算方式への取り組み

◆施工P対応のWeb版土木積算システム

平成24年度内の開発を完了しており、平成25年度より標準機能として提供を開始。

◆施工P対応の積算基準データ(XML形式)

積算システムと同様に平成25年度より提供開始。

「データ仕様解説書」を平成25年10月頃に一般に公開予定。

アドレス: <http://www.jacic.or.jp/hyojun/download.htm>

3. 地方公共団体向けのWeb版土木積算システム

◆積算システムの基準データの特徴

- ◆国土交通省の工事工種体系及び土木工事標準積算基準書に準拠した積算基準データ。
- ◆データ内容の視認性が高く、関連システムとの連携が容易な「XML形式」を採用。
- ◆県・政令市・市町村等の**38**の地方公共団体等で利用中そのうち**9**県では県下市町村が共同利用。
- ◆施工パッケージ積算方式に対応し、標準単価、代表機労材規格、機労材構成比を追加。

3. 地方公共団体向けのWeb版土木積算システム

◆ 施工パッケージの積算イメージ

道路新設・改築

- 舗装
 - 舗装工
 - アスファルト舗装工
- 舗装工
 - 舗装準備工
 - 不陸整正
 - 調整コンクリート
- 橋面防水工
 - 橋面防水
- アスファルト舗装工
 - 下層路盤(車道・路肩部)**
 - 下層路盤(歩道部)
 - 上層路盤(車道・路肩部)
 - 上層路盤(歩道部)
 - 基層(車道・路肩部)
 - 基層(歩道部)
 - 中間層(車道・路肩部)
 - 中間層(歩道部)
 - 表層(車道・路肩部)

工事工種体系の表示画面で施工パッケージのレベル4はPのマークを表示している。

下層路盤(車道・路肩部)の積算条件を表示し回答を入力する。

設問番号	設問	回答
<input checked="" type="checkbox"/> Q01	路盤材種類	クラックラン C-20
<input checked="" type="checkbox"/> Q02	路盤材規格	
<input checked="" type="checkbox"/> Q03	仕上り厚	100mm
<input checked="" type="checkbox"/> Q04	路盤材敷均し・締固め費	下層路盤(車道・路肩部)

名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額
0001	下層路盤(車道・路肩部) CB410030	75mm≧125mm以下,クラックラン C-20	m2	1	472.7	472
0002	単価/合計		m2	1	472	472

特集● 公共調達をめぐる最近の潮流 —施工パッケージ型積算の動向—

Part 1 特別講座

公共事業執行システムの将来像

木下 誠也：愛媛大学防災情報研究センター 教授

5

Part 2 国土交通省の取組み

ユニットプライス型積算方式を振り返って

高村 裕平：国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長

15

施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

吉田 潔：国土交通省国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター
建設システム課 主任研究官

18

施工パッケージ型積算の適用状況について

国土交通省北海道開発局事業振興部 技術管理課

23

関東地方整備局における施工パッケージ型積算方式および入札契約等の取組み

藤井 弘造：国土交通省関東地方整備局企画部 技術管理課長

27

施工パッケージ型積算方式の試行を振り返って

古賀 聡明：(前) 国土交通省近畿地方整備局企画部技術管理課 課長補佐

32

【参考】JACIC情報108号：施工パッケージ型積算の動向

Part 3 施工パッケージ型積算方式への期待

施工パッケージ型積算方式への対応状況について 36
一般社団法人日本建設業連合会 公共積算委員会新技術推進部会

施工パッケージ型積算方式への所見 39
小林 勲：一般社団法人日本道路建設業協会 調査部長

Part 4 地方公共団体の対応

新しい公共調達に向けた秋田県の対応 41
石山 良英：秋田県建設部技術管理課 課長

大阪府における施工パッケージ型積算方式導入の課題・検討 45
萩 信之：大阪府都市整備部事業管理室技術管理課技術情報グループ 副主査

新しい公共調達に向けた高知県の対応 48
高知県 土木部

Part 5 JACICの取組み

JACICにおける地方公共団体への施工パッケージ型積算方式の導入支援 51
宮本 高行：一般財団法人日本建設情報総合センター 積算システムセンター長

A photograph of a bright blue sky with wispy white clouds, viewed from a low angle looking up. The sky transitions from a deep blue at the top to a lighter blue near the horizon. The bottom portion of the image is a solid dark blue/black gradient.

ご静聴ありがとうございました。